

勝田小 手織りの技法 6年生が学ぶ

織物作家出張講座

美作

織物作家
で県立大デ
ザイン学部

准教授の渡辺操さん
(46)による出張講座が

23日、美作市真加部の
勝田小であり、6年生
16人が古くから受け継
がれてきた手織りの技
法を体験した。

足踏み式手織り機を使い、縦糸
の間に横糸を通す児童



り機を操作。踏み木を横糸をストローに巻き足で押し込んで縦糸小さな輪を作って織るを開いてから間に横糸ループなどを実践しを通し、くし状の筥ををた。

とんとんと手前に引渡辺さんは、トルコいて織り目を整えた。結びがじゅうたん、ル次に段ボールの簡易織ープが肌触りの良いタり機を使い、縦糸にオルに用いられている横糸を交差させる平織ことを紹介しながら指り、縦糸2本を横糸導。絹田壮馬さん(12)で束ねるトルコ結び、は「身近なタオルに使

区天神町)で開かれる「第71回日本伝統工芸展」岡山展(日本工芸会、山陽新聞社など主催)の関連行事。児童の作品は期間中に会場で展示される。

(常井智之)

われるルー
プで糸が立
体的になっ
ていくのが
面白かつ
た」と話し

講座は11

月21日〜12

月8日に県

立美術館

(岡山市北

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。